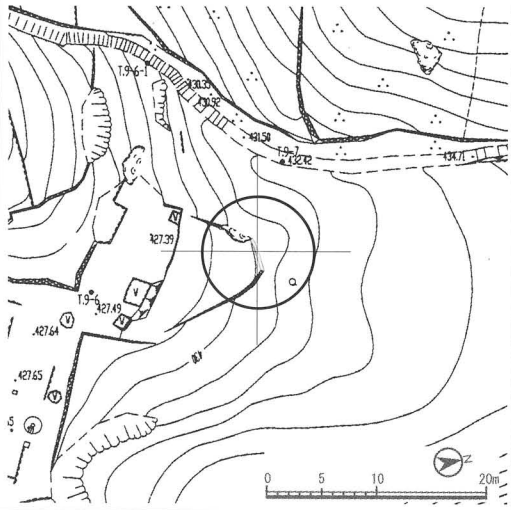
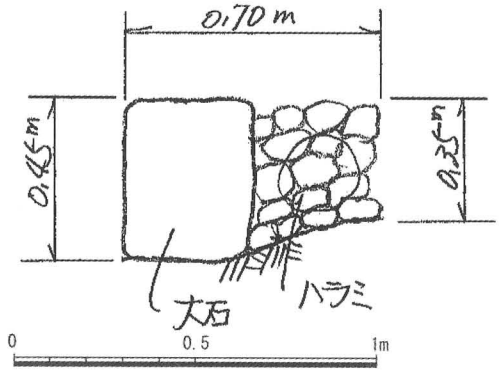
石垣番号	ai_014	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 0.70		下端 0.70		
石垣高さ	左 0.45		右 0.35		
	最高 0.45	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	土・平坦面(ゆるい傾斜)				
石材種別	割石				
石積工法	その他				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石を積む。後世の畑の石か？雑な積み方。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・小石材で築いたことなどにより、ワレがみられる。	

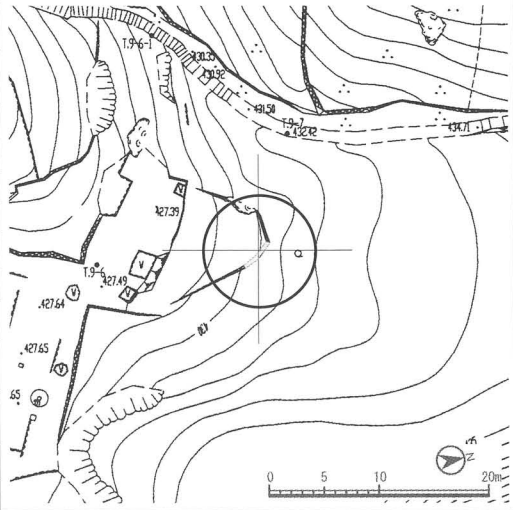


全景写真１

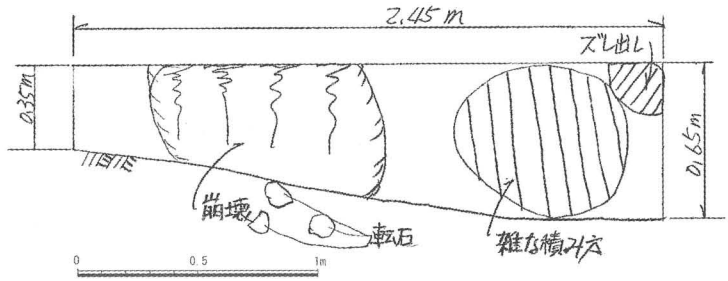
全景写真２

石垣番号	ai_015	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.45		下端 2.45		
石垣高さ	左 0.35		右 0.65		
	最高 0.65	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	半壊。小さめの石を雑に積む。後世の畑に伴うものか？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



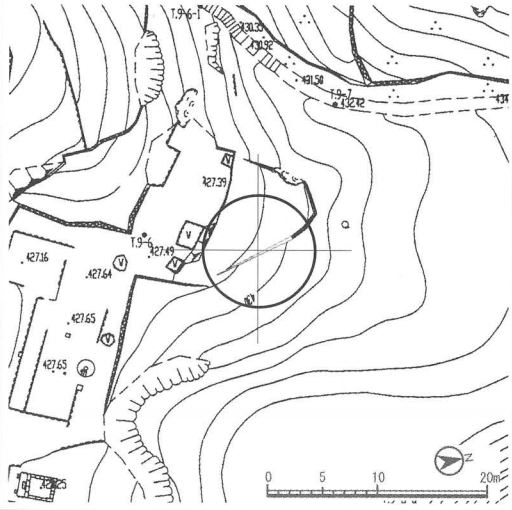
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

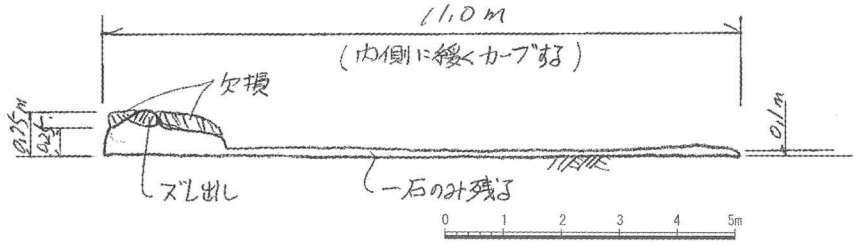
石垣番号	ai_016	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 11.00		下端 11.00		
石垣高さ	左 0.25		右 0.10		
	最高 0.75	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面(ゆるい斜面)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



特記事項	雑な積み方。左端天端トレ？畑に伴う後世のものか？

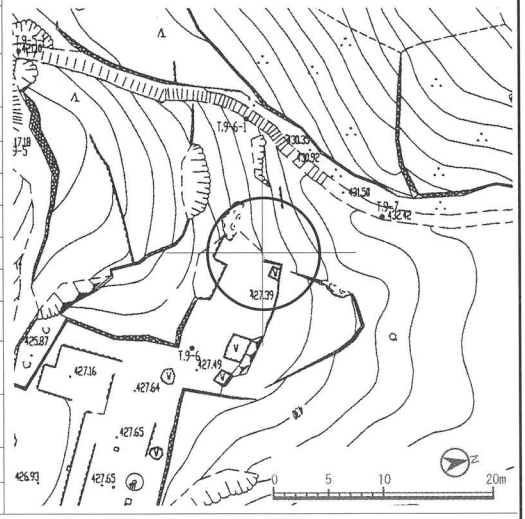
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	



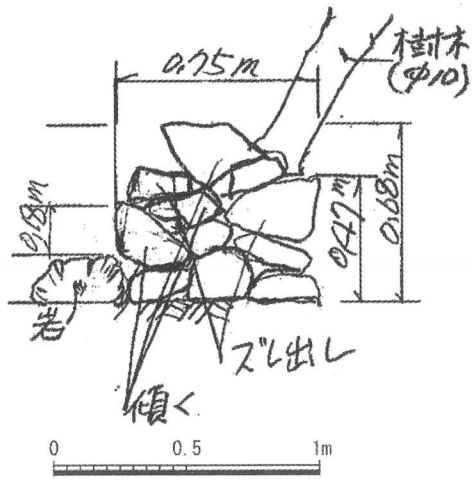
全景写真１

石垣番号	ai_017	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 0.75		下端 0.75		
石垣高さ	左 0.18		右 0.47		
	最高 0.68	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状					
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小さめの石を雑に積む。木の根で石が前にハラミ出す。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



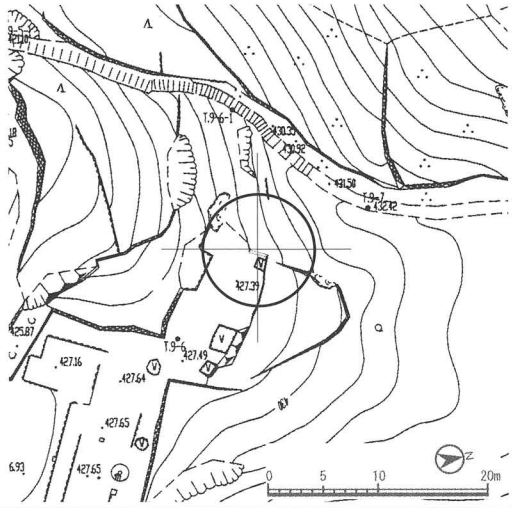
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



全景写真１

石垣番号	ai_018	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.70		下端 1.70		
石垣高さ	左 0.47		右 0.93		
	最高 0.93	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	雑な積み方。樹木天端１本、周辺の天端石ナシ。木根で石が前へズリ出す。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

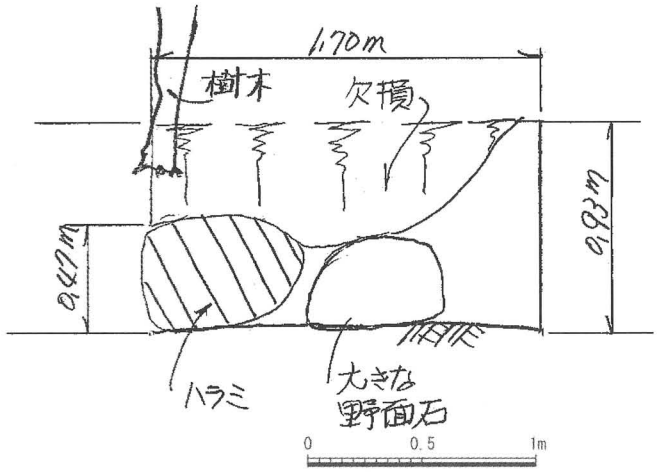


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ハラミ、カケがみられる。

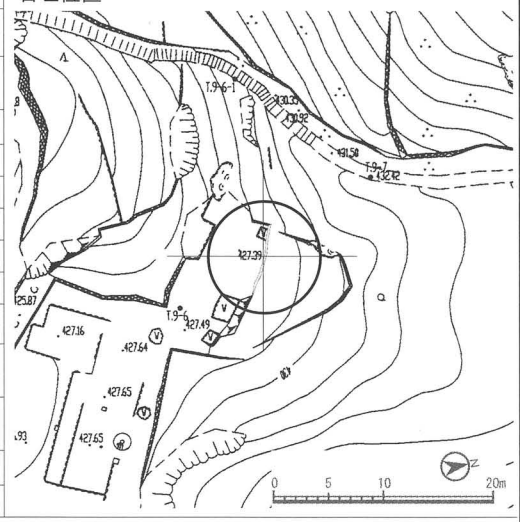
・石垣天端の樹木の影響などにより、カケがみられる。

略図



全景写真１

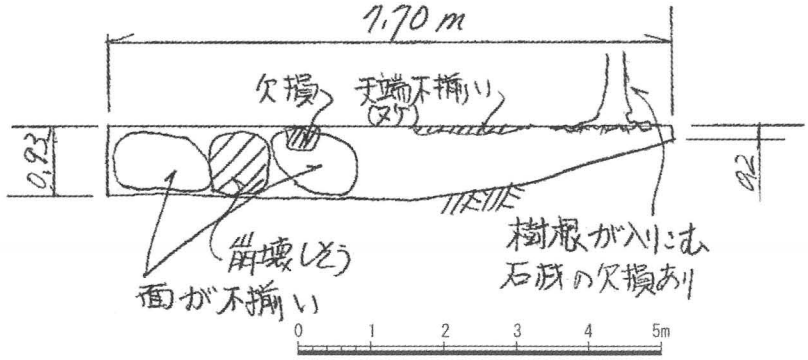
石垣番号	ai_019	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 7.70		下端 7.70		
石垣高さ	左 0.93		右 0.20		
	最高 0.93	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石材所々トレ。左の四角い穴の中の石材と他の面が揃わず。左端の穴の上の石落下可能性大。				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。
- 石垣天端の樹木の影響などにより、カケがみられる。

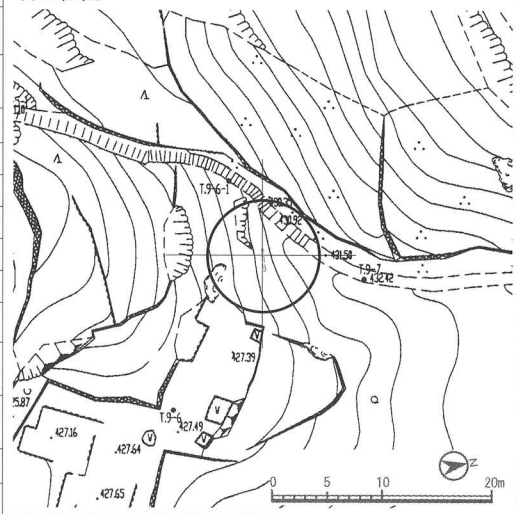
略図



全景写真１

石垣番号	ai_020	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.00		下端 2.00		
石垣高さ	左 0.33		右 0.70		
	最高 0.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ(欠損)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右側は本来もう少し続いていたと思われる。				

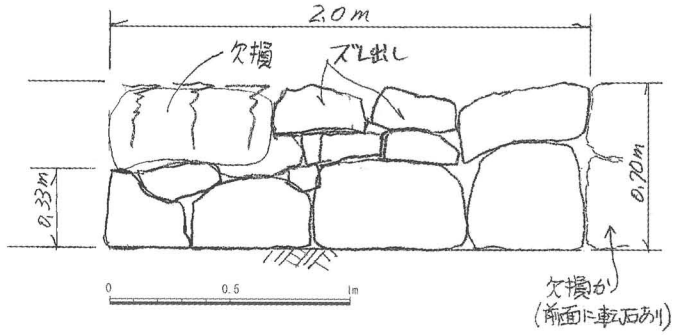
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。

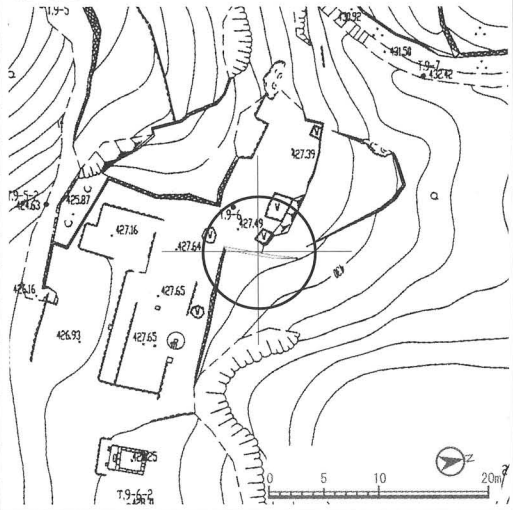
略図



全景写真1

石垣番号	ai_021	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.00		下端 7.00		
石垣高さ	左 0.18		右 0.20		
	最高 0.56	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右出角附近崩落。斜面のコーナー先端のため土圧で崩壊したと思われる。左石材欠損。木１本（10cm）				

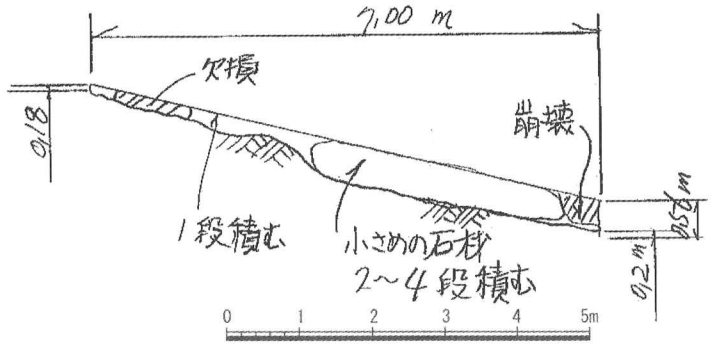
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



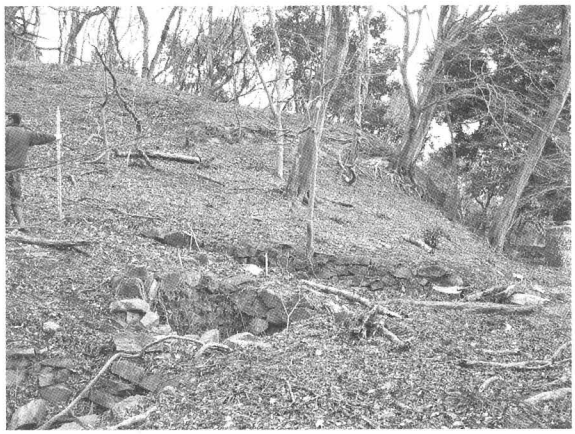
破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊、カケがみられる。

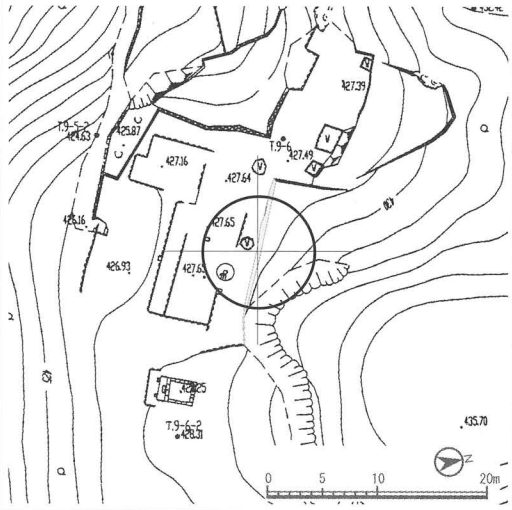
略図



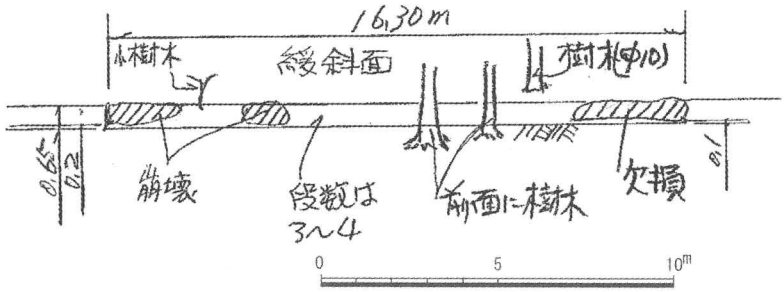
全景写真１



石垣番号	ai_022	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？区画割？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 16.3		下端 16.3		
石垣高さ	左 0.20		右 0.30		
	最高 0.65	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左端及び左端近くの２ヶ所で崩壊。上部斜面の土圧の為と思われる。石材も小石が多く雑で、これも崩壊の原因の一つと思われる。右端は石材欠損。				



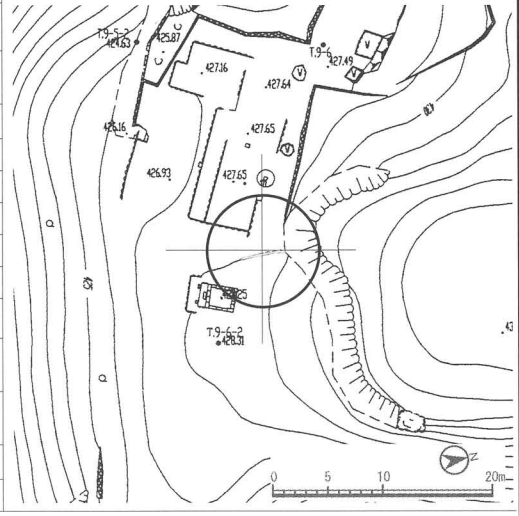
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊、カケがみられる。	



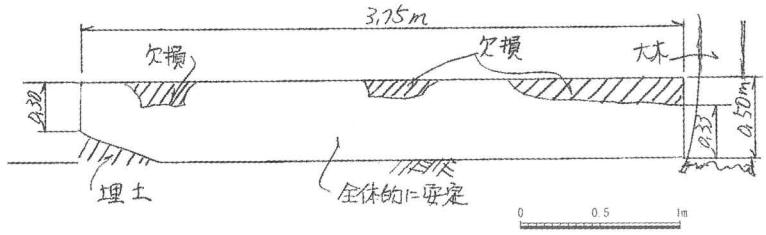
全景写真１

全景写真２

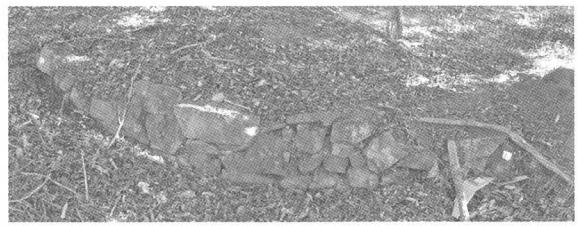
石垣番号	ai_023	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？区画割			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.75		下端 3.75		
石垣高さ	左 0.30		右 0.33		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	上部石材欠損みられるが安定している。大小様々な割石を用いる。				



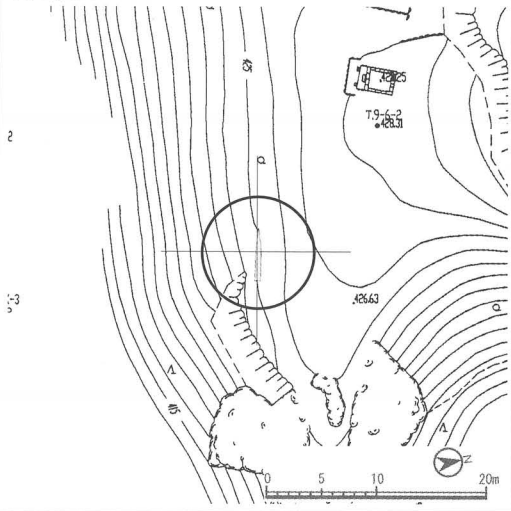
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、カケがみられる。	



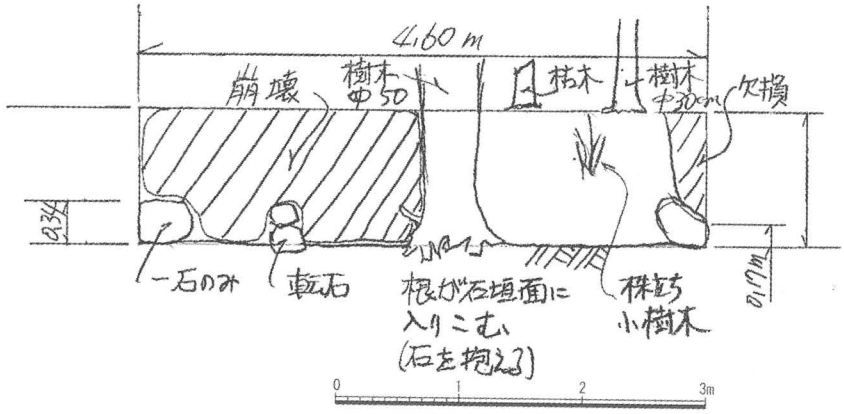
全景写真1



石垣番号	ai_024	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.60		下端 4.60		
石垣高さ	左 0.34		右 0.17		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木によると思われる崩落あり。元の姿がはっきりしない。				



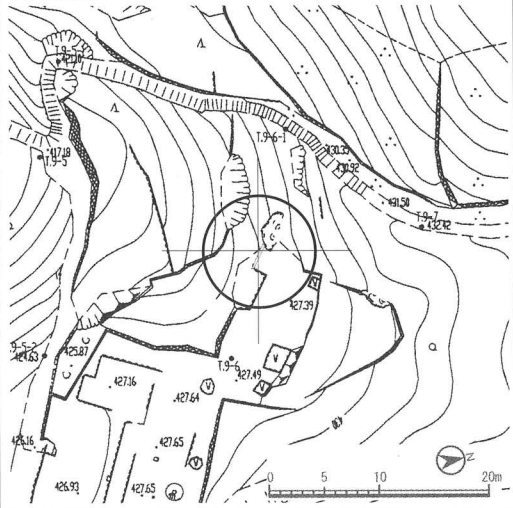
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊、カケがみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。	



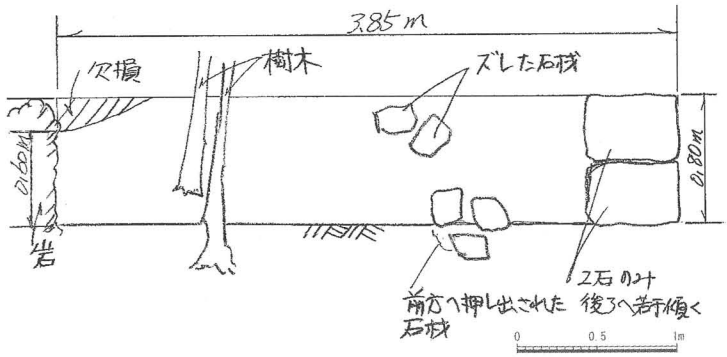
全景写真1

石垣番号	ai_025	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？区画？				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け(岩)			
石垣延長	天端 3.85		下端 3.85		
石垣高さ	左 0.60		右 0.80		
	最高 0.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	右端出角のみ残る。他は残骸が点々とあるのみ。背後の土圧か？露岩の組込。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



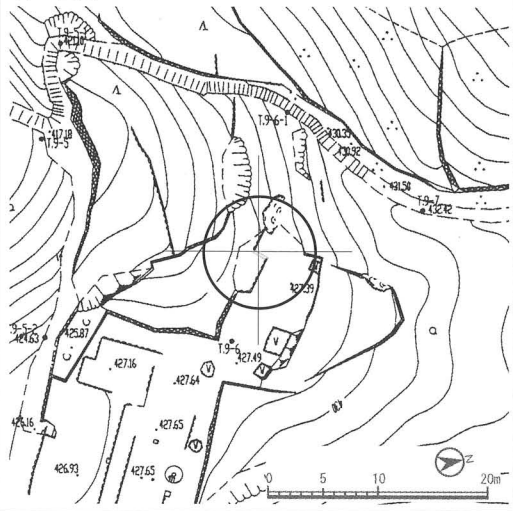
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



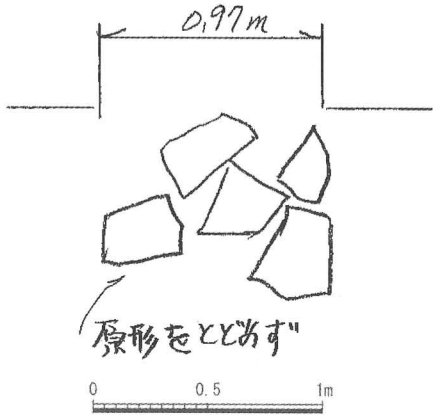
全景写真1

石垣番号	ai_026	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画割り？				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.97		下端 0.97		
石垣高さ	左 0.80		右 0.40		
	最高 0.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	全壊。土圧か？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



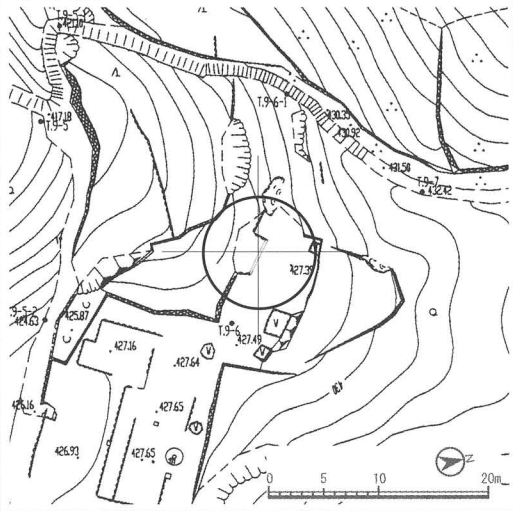
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



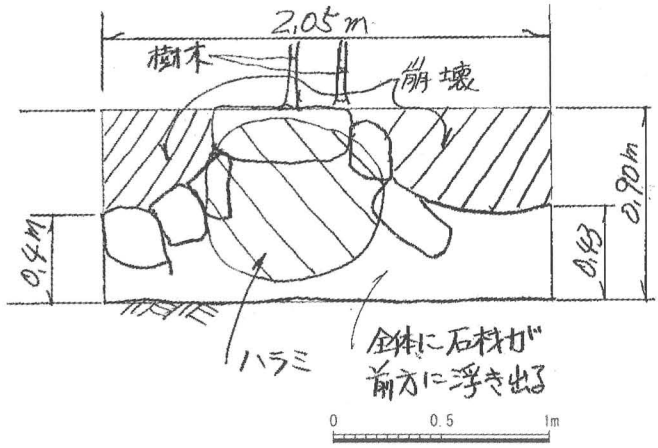
全景写真1

石垣番号	ai_027	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画割？				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.05		下端 2.05		
石垣高さ	左 0.40		右 0.43		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石垣は低いが崩壊の危険性高い。左右の石垣は崩落。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

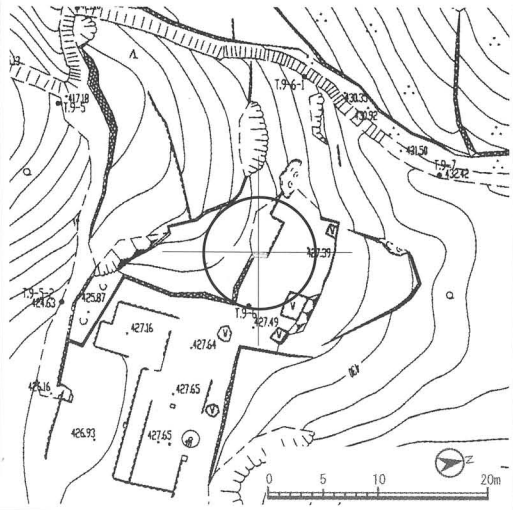


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊、ハラミがみられる。	

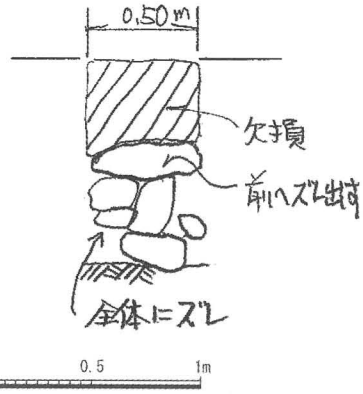


全景写真１

石垣番号	ai_028	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 0.50		下端 0.50		
石垣高さ	左 0.30		右 0.93		
	最高 0.93	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	短い面であるが石材の全てが動き、崩落しているものもある。				

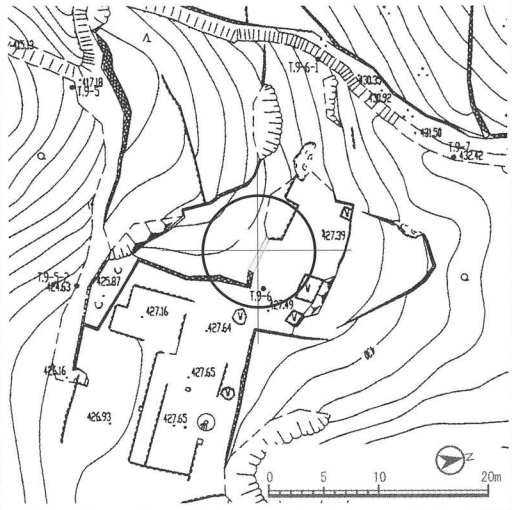


破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	

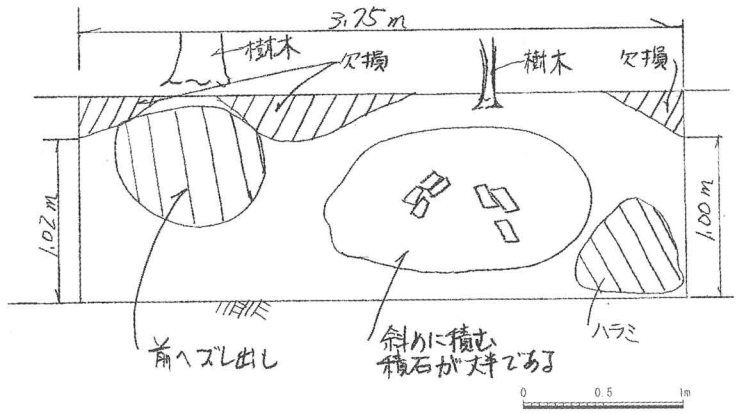


全景写真1

石垣番号	ai_029	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.75		下端 3.75		
石垣高さ	左 1.02		右 1.00		
	最高 1.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.24				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	非常に雑な積み方。谷積。小石材多し。天端に１本、天端近くに１本樹木。				

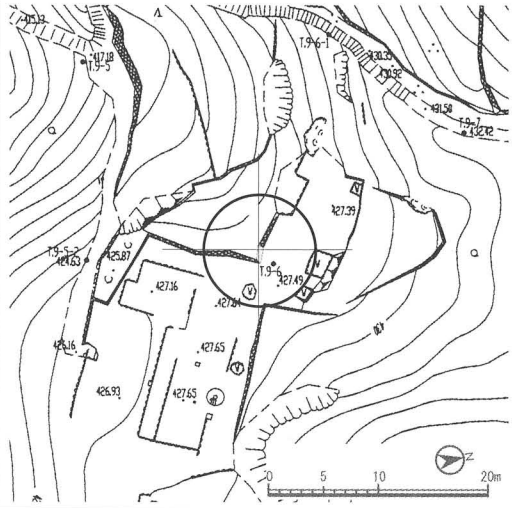


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。 ・石垣天端の樹木の影響などにより、カケがみられる。	

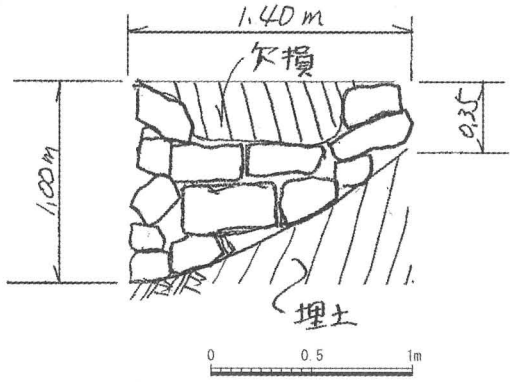


全景写真１

石垣番号	ai_030	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.40		下端 1.40		
石垣高さ	左 1.00		右 0.35		
	最高 1.00		最高点位置		
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	上半欠損（崩壊）、下部は土砂で埋もれ、背後の土砂で少々一部ズレ出し。				



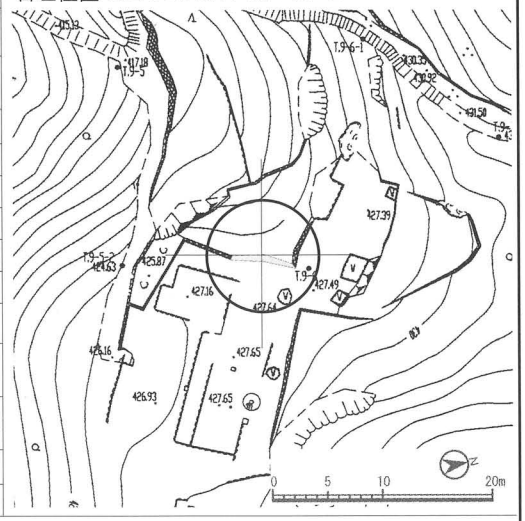
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



全景写真１

石垣番号	ai_031	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画？				
角の形状	右	（入角？）			
	左	入角(すり付け？)			
石垣延長	天端 5.75		下端 5.75		
石垣高さ	左 0.35		右 1.24		
	最高 1.24	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.28		
	最高地点 0.28				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

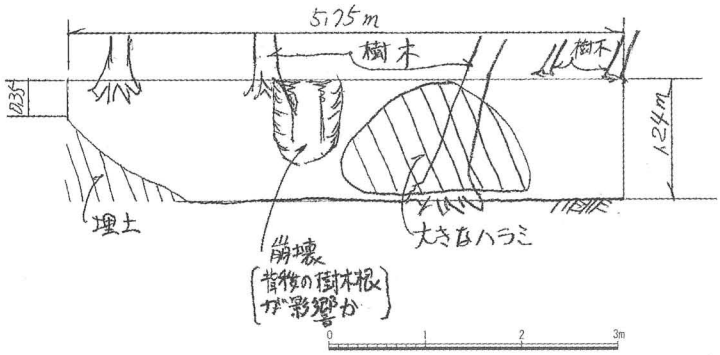


特記事項	一部石材ナナメに積む。中央部全体に前に大きくハラミ出し。その左は部分崩壊。右側（ai32）と一連の石垣であるが、右に比べて石材小さい。

破損の要因と破損状況

- 石垣天端の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

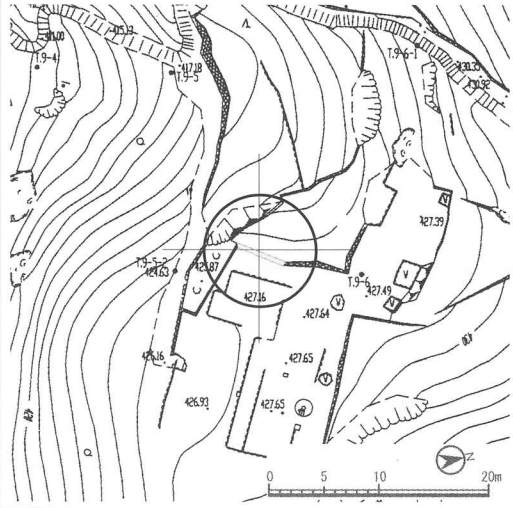
略図



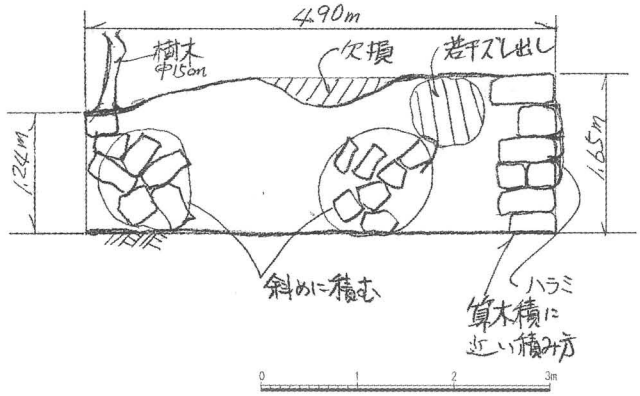
全景写真1

石垣番号	ai_032	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画割り？				
角の形状	右	出角			
	左	(入角？)(すり付け？)			
石垣延長	天端 4.90		下端 4.90		
石垣高さ	左 1.240		右 1.65		
	最高 1.65	最高点位置			
石垣勾配	左 0.28		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	他に比べ比較的大石（約１m）を用いる。右角ゆるくハラミ。全体に谷積。後世の積み直しか？算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

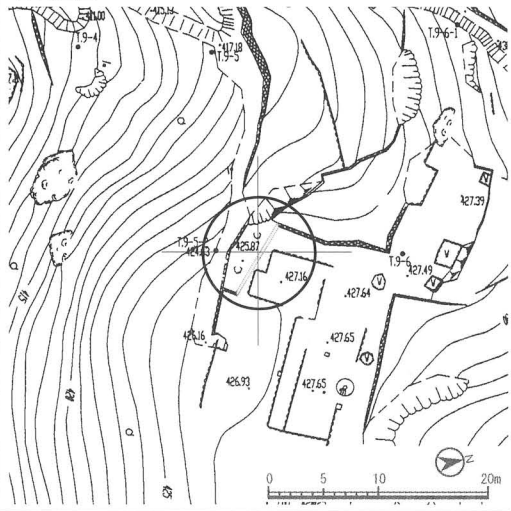


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミ、カケがみられる。	

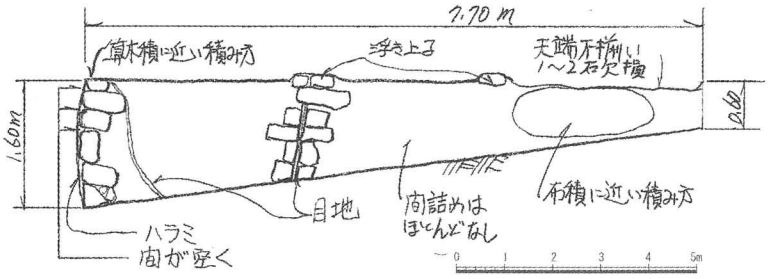


全景写真１

石垣番号	ai_033	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.70		下端 7.80		
石垣高さ	左 1.60		右 0.60		
	最高 1.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	右半は小石材多し。間詰がほとんどない。（本来なかった？）算木積（低）				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ハラミ、カケがみられる。	

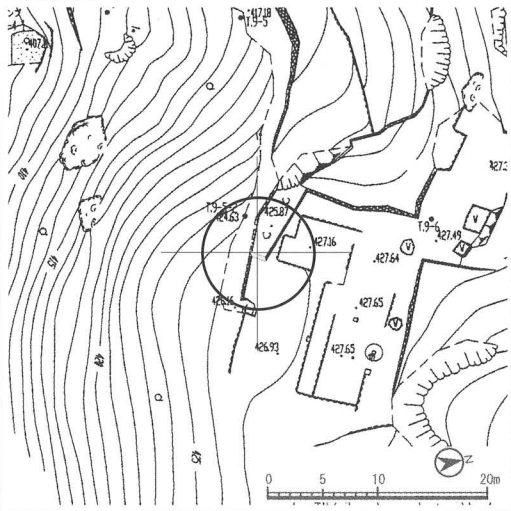


右変曲点

左変曲点

石垣番号	ai_034	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画？				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.34		下端 1.50		
石垣高さ	左 0.60		右 0.83		
	最高 0.83	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材多い。草で石垣みえにくいが、比較的安定している。				

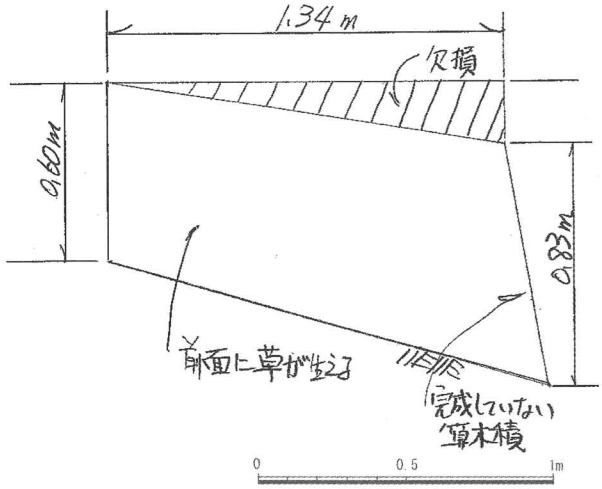
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。

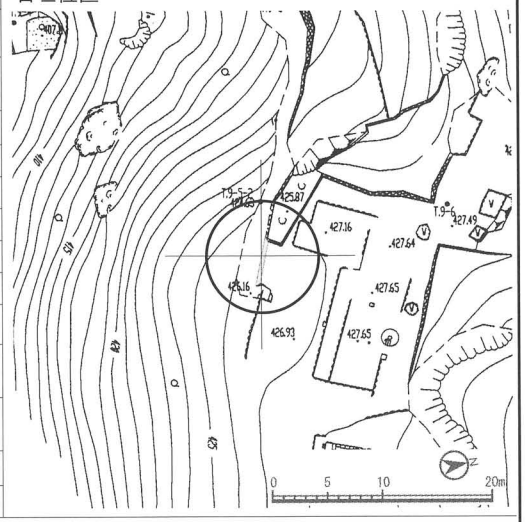
略図



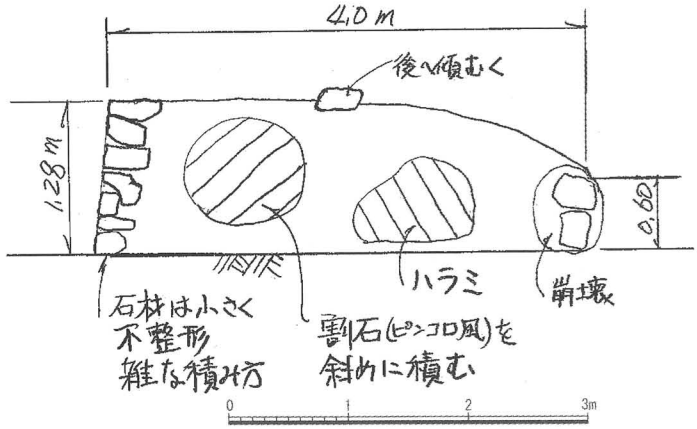
全景写真1

石垣番号	ai_035	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？区画？				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.00		
石垣高さ	左 1.28		右 0.60		
	最高 1.28	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	雑な積み方。石材小さい。右端崩壊。間詰ほとんどなし。（当初からない？）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

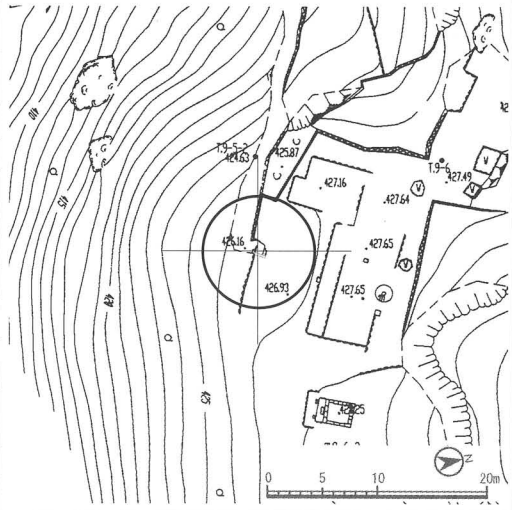


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミ、部分崩壊がみられる。	

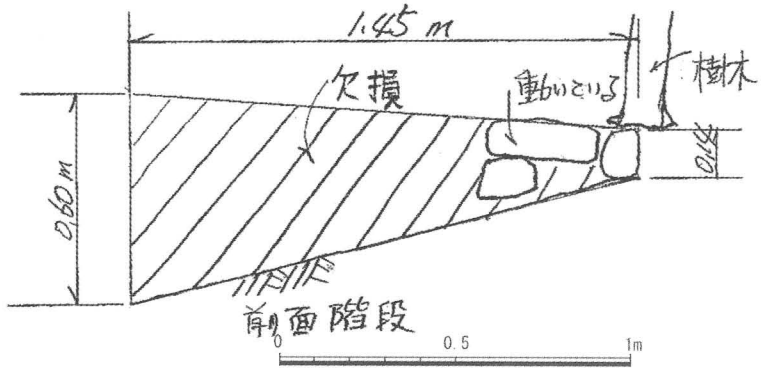


全景写真１

石垣番号	ai_036	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.45		下端 1.45		
石垣高さ	左 0.60		右 0.14		
	最高 0.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	全壊で当初の形不明。石段横の石か？				

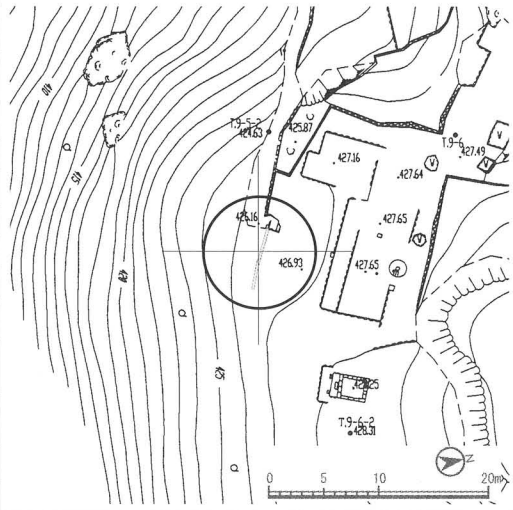


破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	

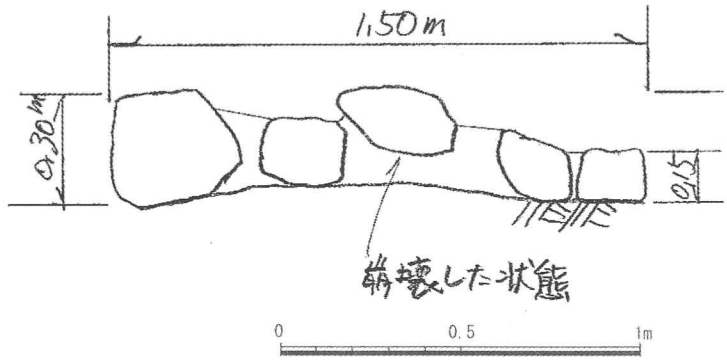


全景写真1

石垣番号	ai_037	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？区画？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.50		
石垣高さ	左 0.30		右 0.15		
	最高 0.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	当初の姿不明。階段横の石か？？				

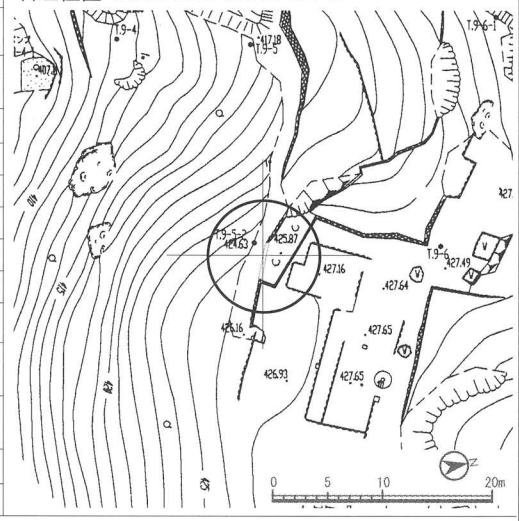


破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



全景写真1

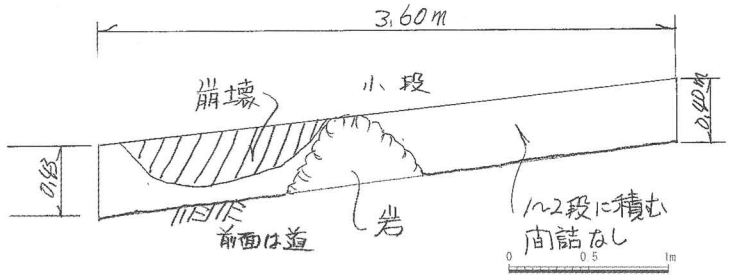
石垣番号	ai_038	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？犬走り？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.60		下端 3.60		
石垣高さ	左 0.43		右 0.40		
	最高 0.43	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代					
危険度	B				
特記事項	中央に岩を挟んで右半のみ残る。左半は土圧で崩れ？（低石垣）残存部問題なし。間詰石なし。				



破損の要因と破損状況

・露岩と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。

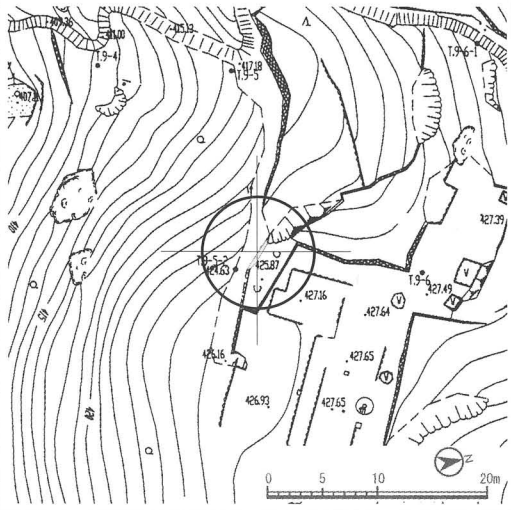
略図



全景写真1

石垣番号	ai_039	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留区画犬走り？				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.60		下端 3.60		
石垣高さ	左 1.50		右 0.43		
	最高 1.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・ゆるい斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石材大小、様々な石をナナメ等雑に積む。小ハラミ。一部崩壊。左端に連絡する石垣部分ナシで危険。				

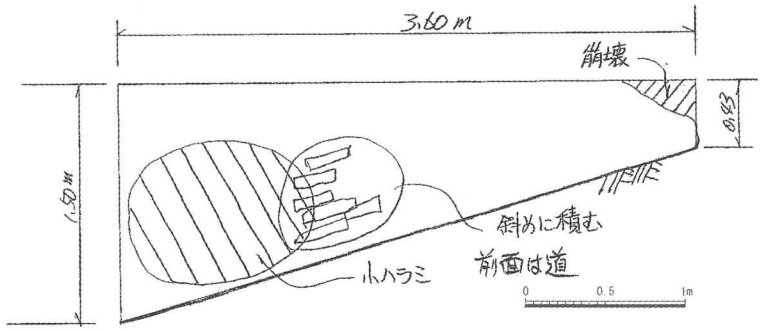
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

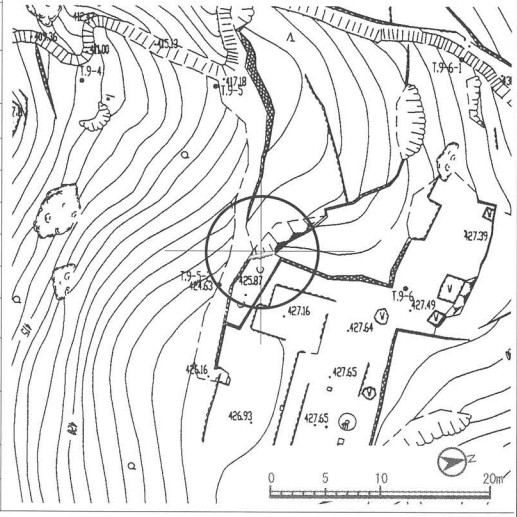
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、部分崩壊がみられる。

略図

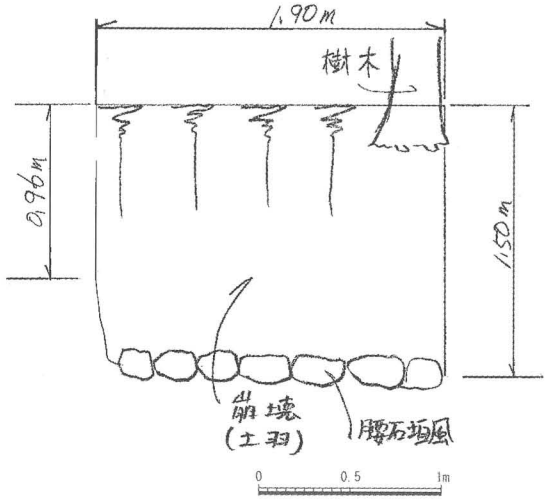


全景写真１

石垣番号	ai_040	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	その他(不明)			
石垣延長	天端 1.90		下端 1.90		
石垣高さ	左 0.96		右 1.50		
	最高 1.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・ゆるい斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	全壊。最下段がかろうじて石列風に残るが、カーブを描いて左のai41と繋がらないため当初の形は不明。				



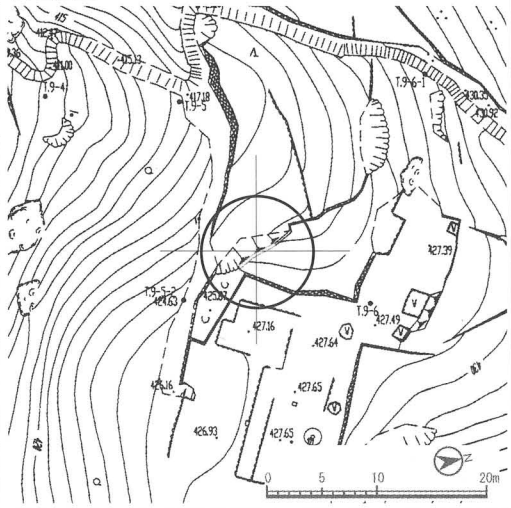
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



全景写真１

石垣番号	ai_041	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？				
角の形状	右	入角？			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.00		
石垣高さ	左 0.85		右 0.96		
	最高 0.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・ゆるい斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体に面が揃っていない。大小様々な割石を雑に積む。一部大きくズレ出し。				

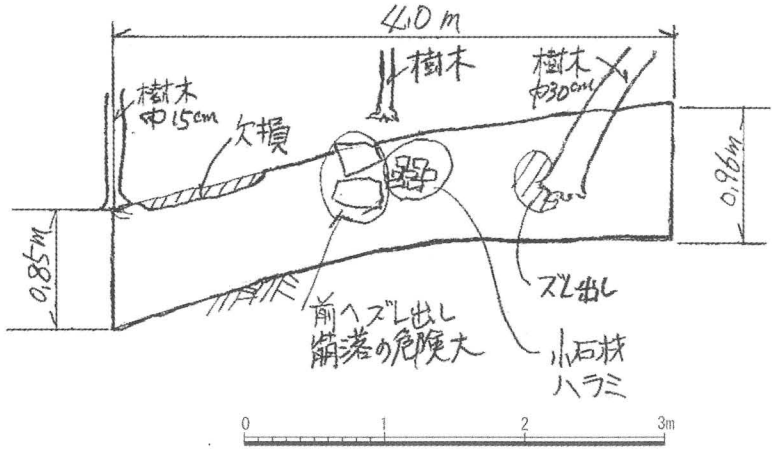
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



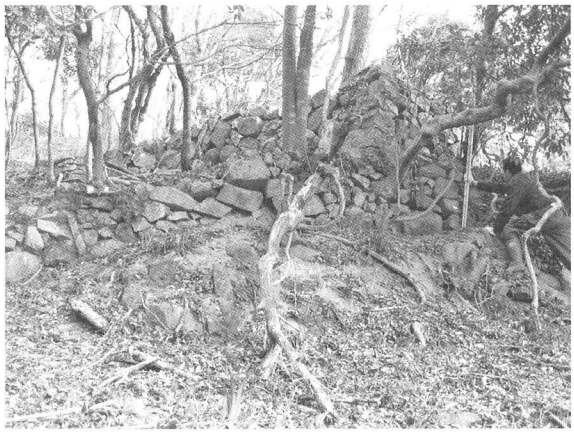
破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、小ハラミがみられる。

略図

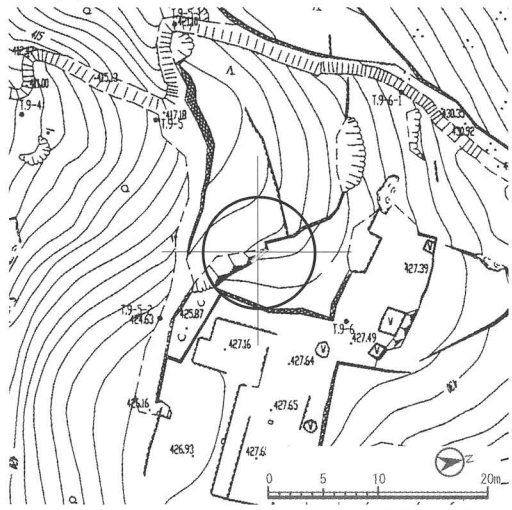


全景写真1



石垣番号	ai_042	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	その他？				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.50		
石垣高さ	左 0.60		右 0.85		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・ゆるい斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材多く雑な積み方。全体にうねる感じでハラミ出し。				

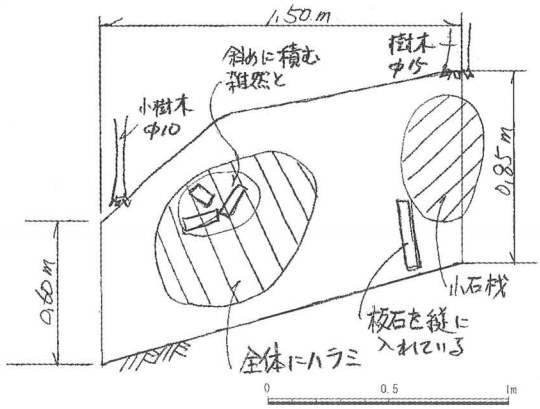
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

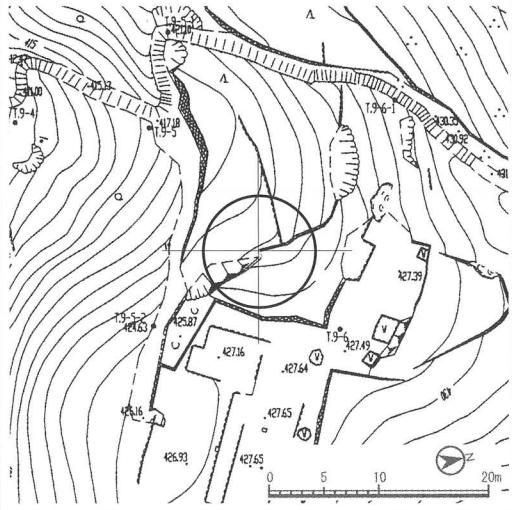
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。

略図

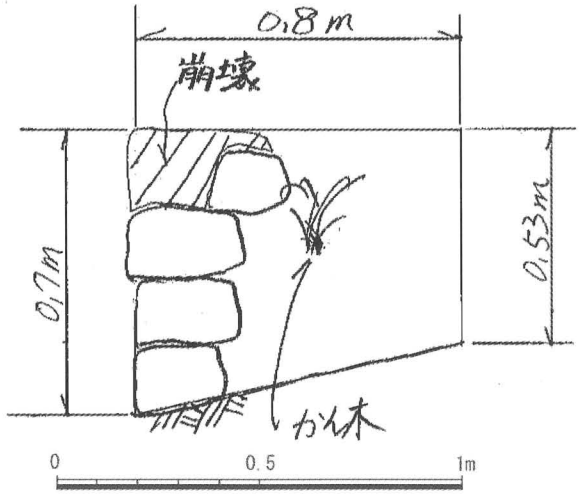


全景写真1

石垣番号	ai_043	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.80		下端 0.80		
石垣高さ	左 0.70		右 0.53		
	最高 0.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・ゆるい斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材を使う。雑な積み方。左端上半崩壊。				

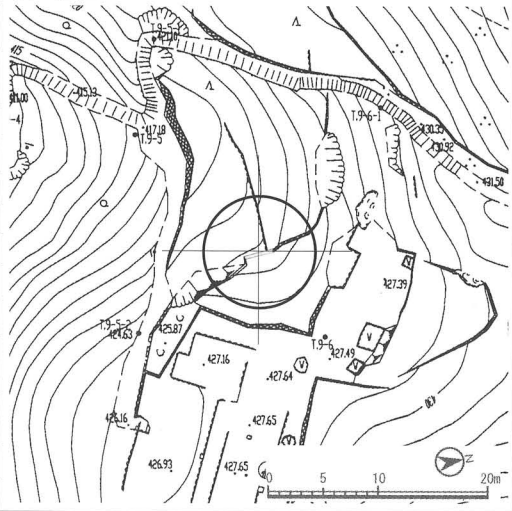


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	

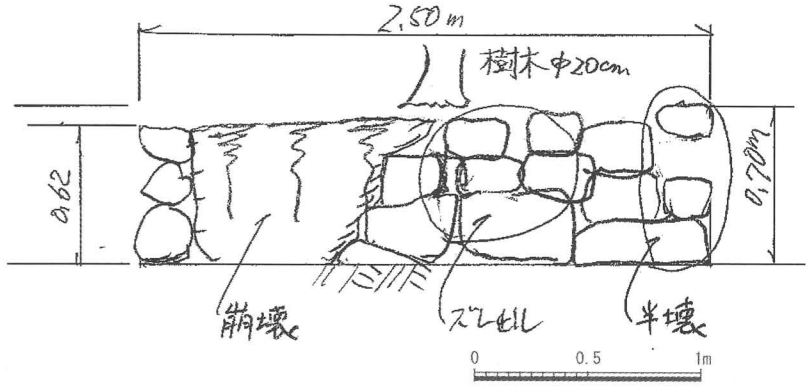


全景写真1

石垣番号	ai_044	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.50		下端 2.50		
石垣高さ	左 0.62		右 0.70		
	最高 0.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左半崩壊。雑に小石材を積む。残存する右半も全体にズレ出している状態。				



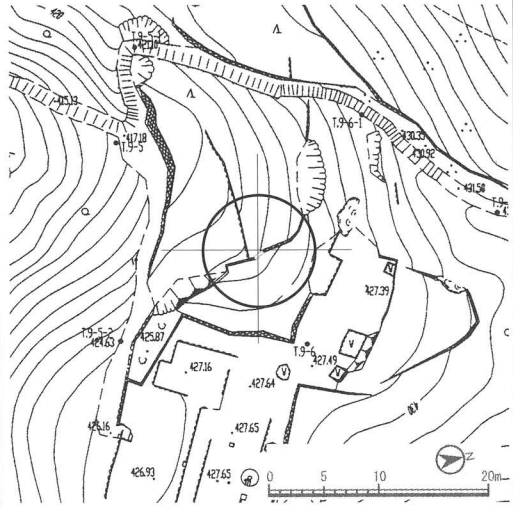
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



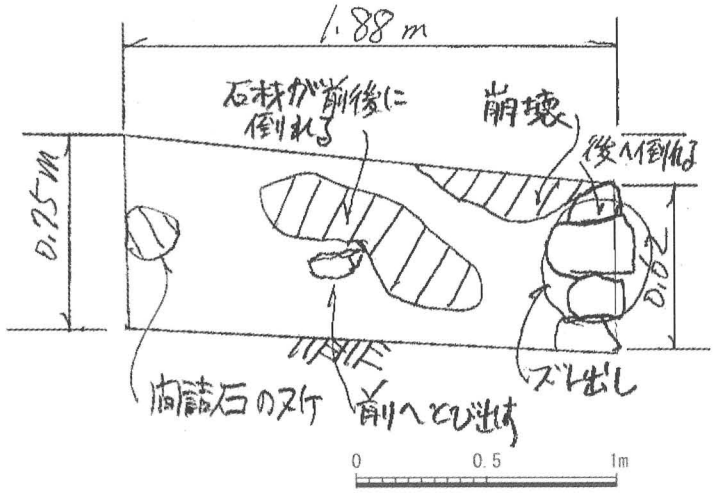
全景写真1

石垣番号	ai_045	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.88		下端 1.88		
石垣高さ	左 0.75		右 0.62		
	最高 0.75	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

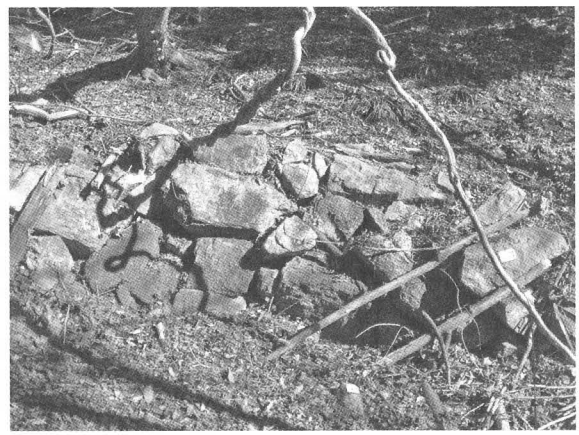
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



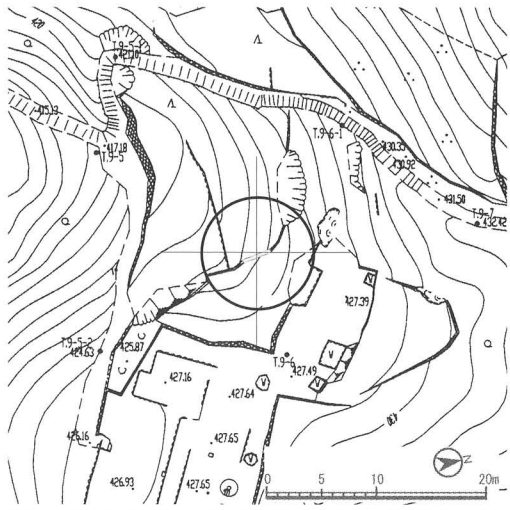
特記事項	右側ai44の崩壊部から連鎖崩壊するかも知れない。積み方と土圧か数石前へズレ出し大。間詰石のヌケあり。

破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

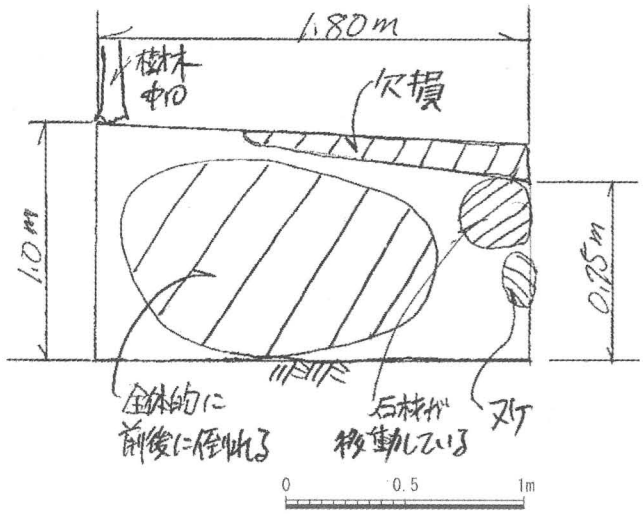
全景写真1



石垣番号	ai_046	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.80		
石垣高さ	左 1.00		右 0.75		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.20		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体に前後に若干石が倒れ込んでいる。大小の石を取り混ぜて積む。				



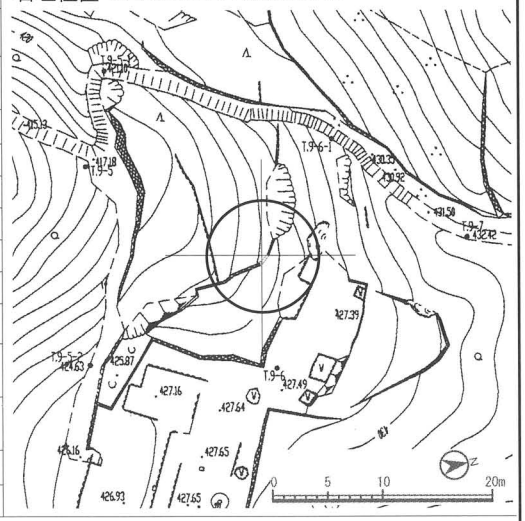
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、カケがみられる。	



全景写真１

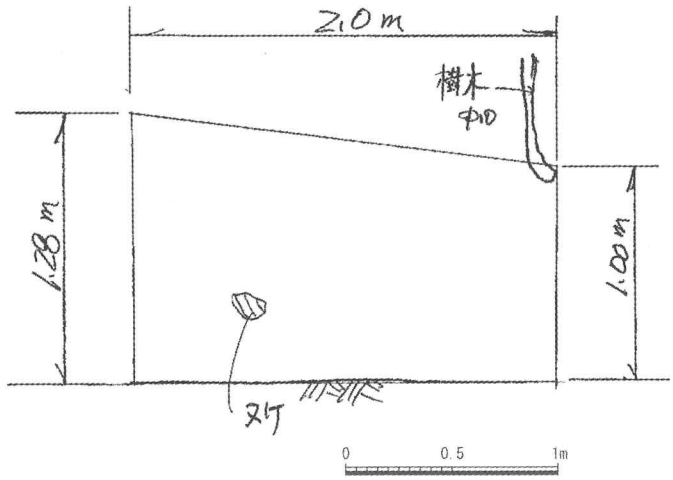
石垣番号	ai_047	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.00		下端 2.00		
石垣高さ	左 1.28		右 1.00		
	最高 1.28		最高点位置		
石垣勾配	左 0.15		右 0.25		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



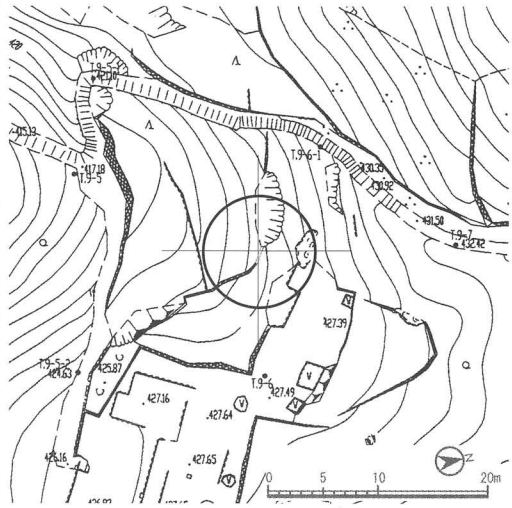
特記事項	間詰石のヌケあり。大小の石を取り混ぜて積む。

破損の要因と破損状況	略図

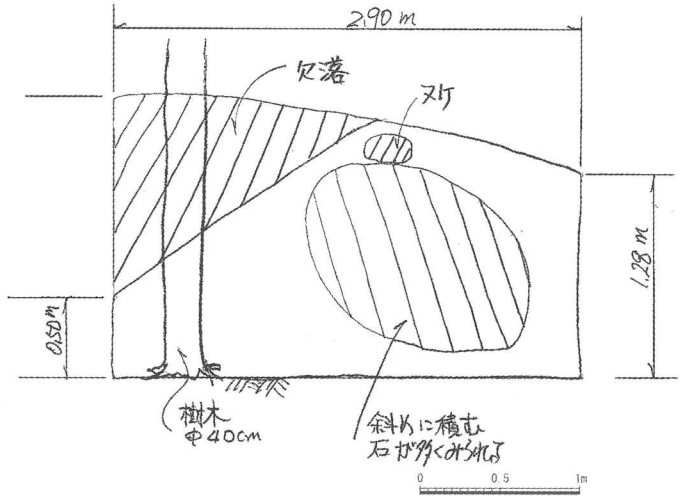


全景写真1

石垣番号	ai_048	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	その他(不明)			
石垣延長	天端 2.90		下端 2.90		
石垣高さ	左 0.50		右 1.28		
	最高 1.63	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	ナナメに積むなど雑な積み方だが比較的安定。但し左端連鎖崩壊の恐れあり。径40cmほどの木が石垣面に食い込む。				



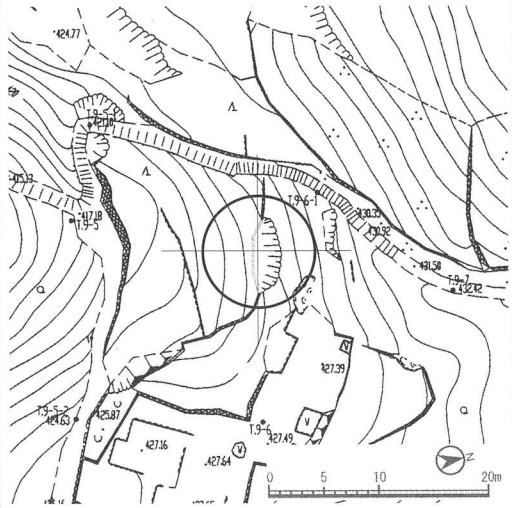
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミ、部分崩壊がみられる。	



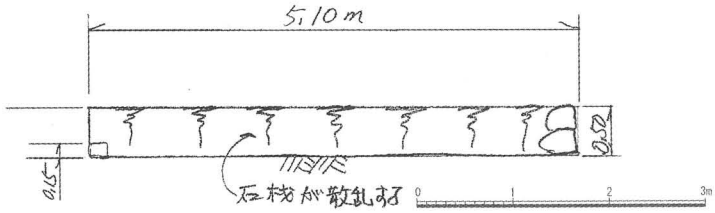
全景写真1

石垣番号	ai_049	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	その他(不明)			
	左	その他(不明)			
石垣延長	天端 5.10		下端 5.10		
石垣高さ	左 0.15		右 0.50		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	全壊。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

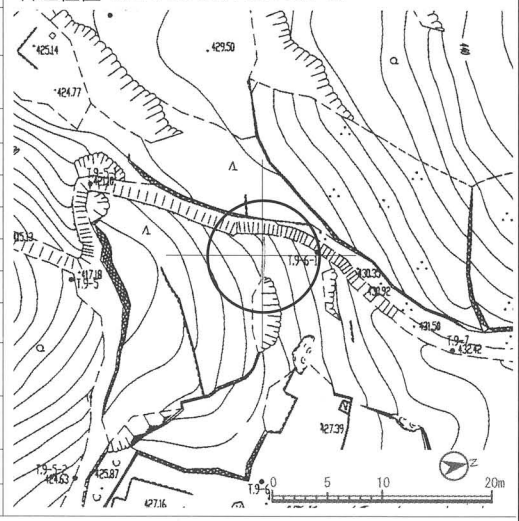


破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



全景写真1

石垣番号	ai_050	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	その他(不明)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.70		下端 5.70		
石垣高さ	左 0.45		右 0.15		
	最高 1.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右端、左中央、左寄り部分崩壊。不安定な地盤上にあり、背後の土圧もあって崩壊の危険あり。石垣自体は低い。				

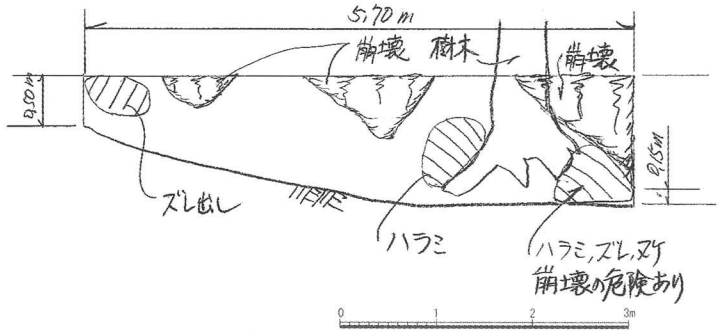


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

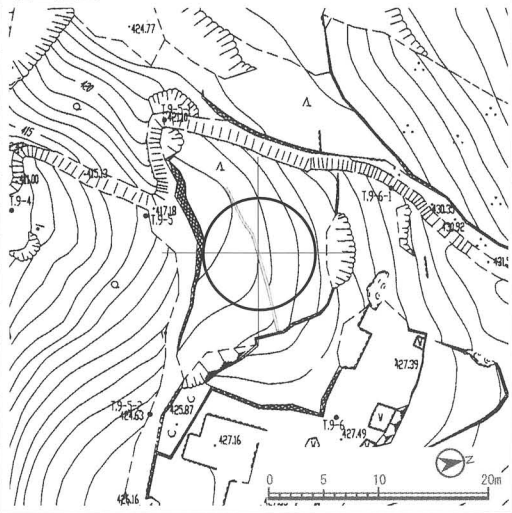
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケ、ハラミ、部分崩壊がみられる。

略図

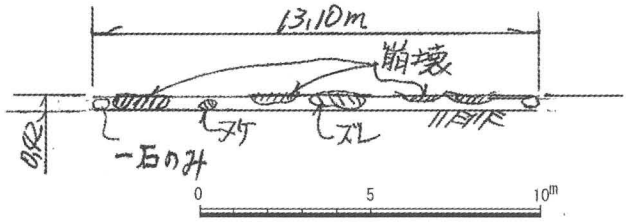


全景写真1

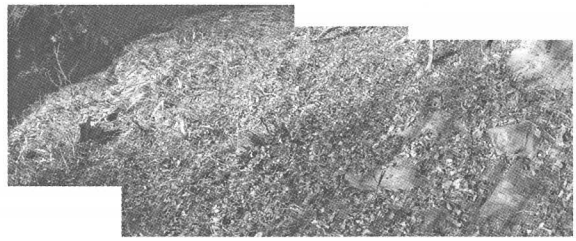
石垣番号	ai_051	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 13.1		下端 13.1		
石垣高さ	左 0.13		右 0.10		
	最高 0.42	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	２～４段の列石状の石垣。小石材を雑に積む。数ヶ所崩壊。				



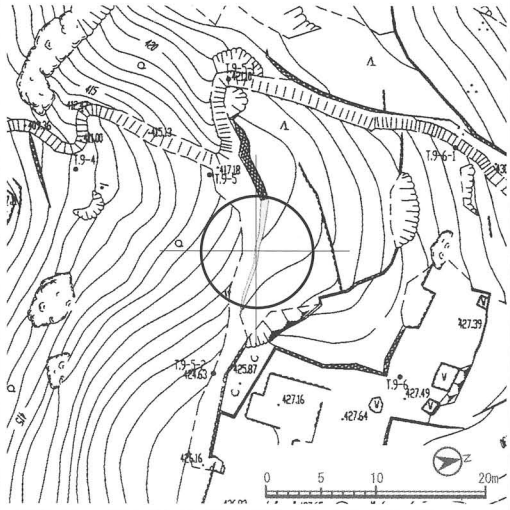
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	



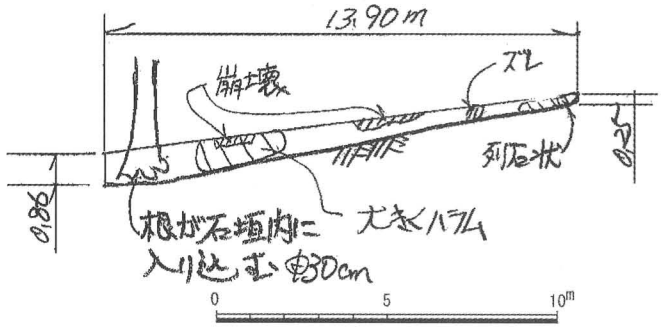
全景写真１



石垣番号	ai_052	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 13.9		下端 13.9		
石垣高さ	左 0.86		右 0.25		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	面が揃わずうねったようにハラム。上部数ヶ所崩壊。小石材多し。				



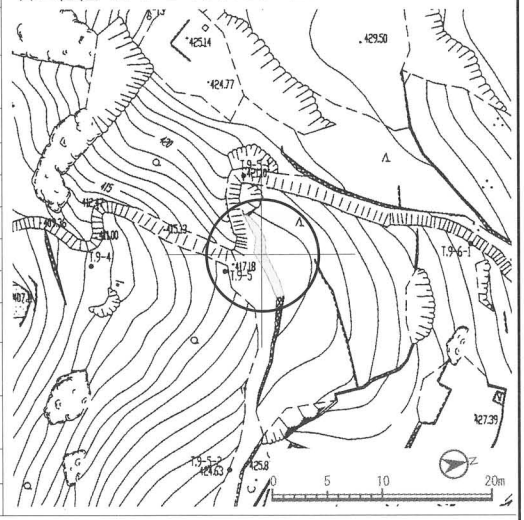
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミ、部分崩壊がみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_053	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.80		下端 8.80		
石垣高さ	左 1.00		右 0.86		
	最高 1.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.40		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

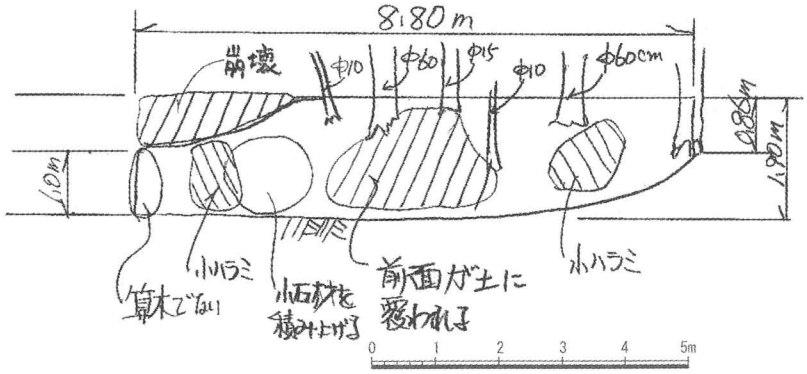


特記事項	左端は通路脇となる。中央部に上面に土砂が溜まる。４～５本木が入り込む。左端上部崩壊。

破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、小ハラミがみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、小ハラミがみられる。

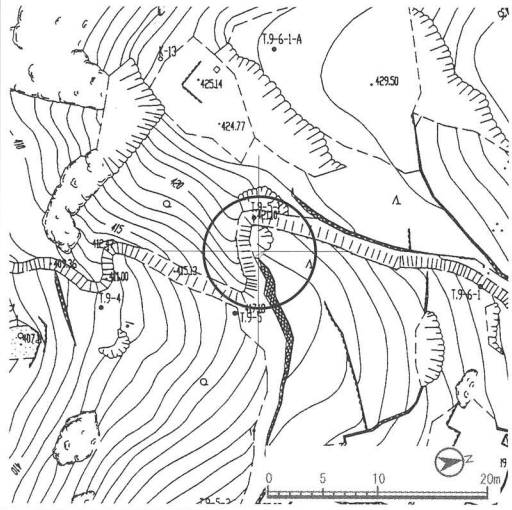
略図



全景写真１

石垣番号	ai_054	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留？				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.00		下端 2.20		
石垣高さ	左 0.46		右 1.00		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	全壊				
特記事項	大半の石材が元位置を留めていない。				

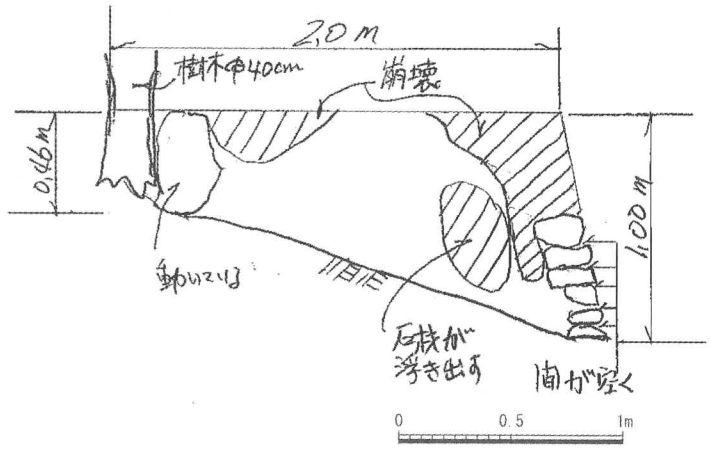
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・全壊している。

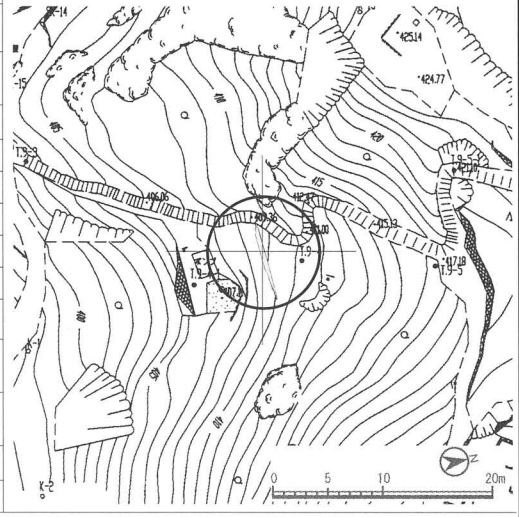
略図

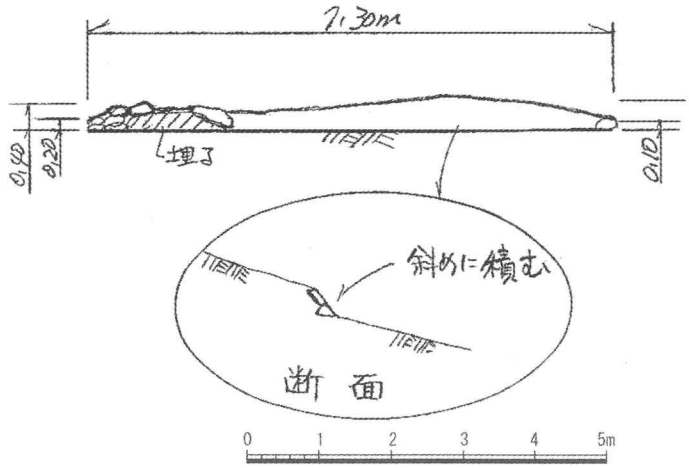


全景写真1

石垣番号	ai_055	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.30		下端 7.30		
石垣高さ	左 0.20		右 0.10		
	最高 0.40		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	ほぼ安定。１～３段の列石状の石。長方形の石を布積状にナナメに積む。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

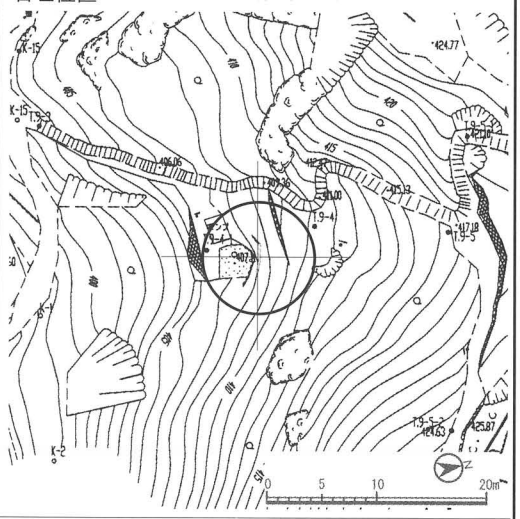


破損の要因と破損状況	略図
	

全景写真１

石垣番号	ai_056	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.90		下端 1.90		
石垣高さ	左 0.12		右 0.11		
	最高 0.12	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	石材埋もれ積石状況不明。１～２石の列石状と思われる。				

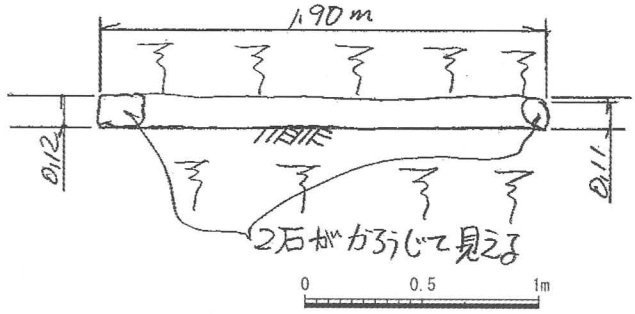
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・全壊している。

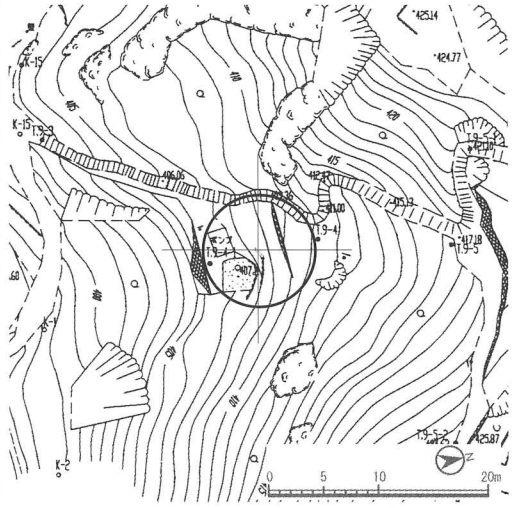
略図



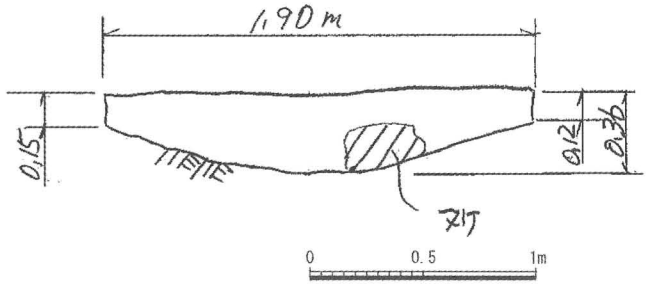
全景写真１

石垣番号	ai_057	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右				
	左				
石垣延長	天端 1.90		下端 1.90		
石垣高さ	左 0.15		右 0.12		
	最高 0.36	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	特に問題ナシ。列石状の石。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

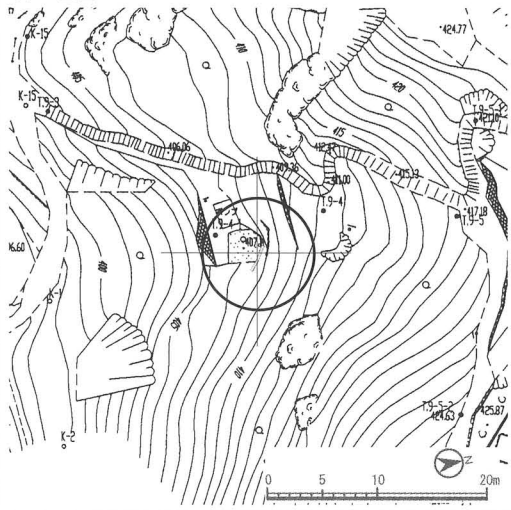


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

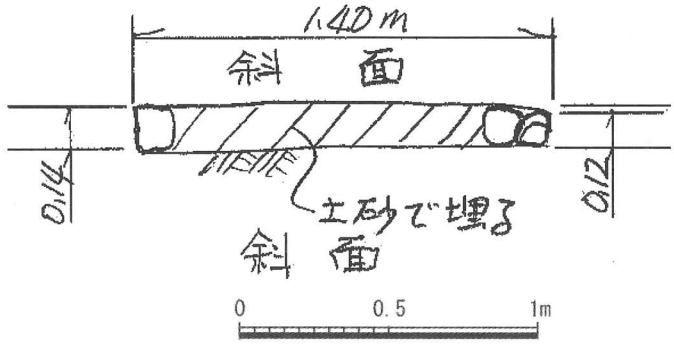


全景写真1

石垣番号	ai_058	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.40		下端 1.40		
石垣高さ	左 0.14		右 0.12		
	最高 0.14	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状の石。大半埋もれ状況不明。特に問題ないと思われる。				



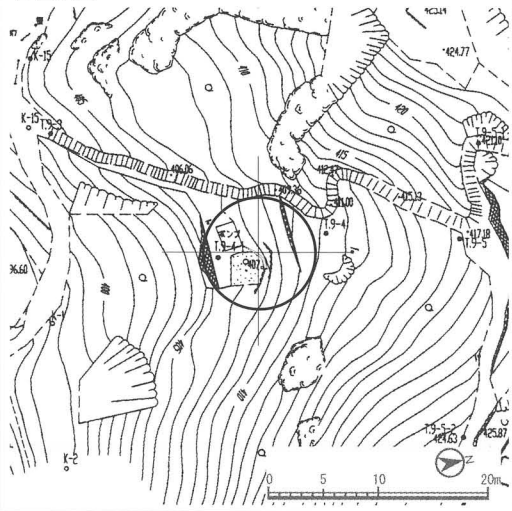
破損の要因と破損状況	略図



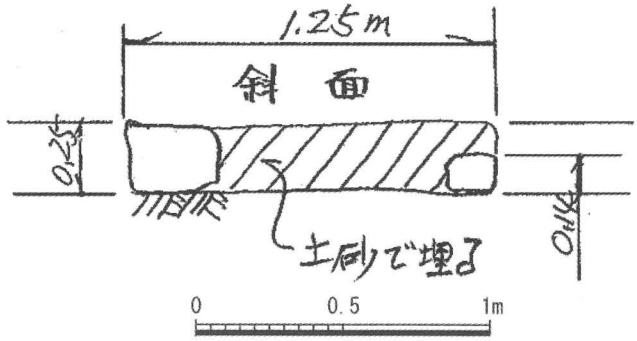
全景写真1

石垣番号	ai_059	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.25		下端 1.25		
石垣高さ	左 0.25		右 0.14		
	最高 0.25	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	特に問題ないと思われる。大半が土砂に埋もれる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

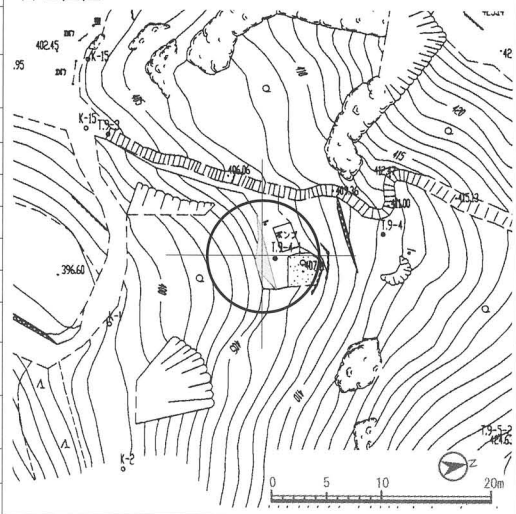


破損の要因と破損状況	略図

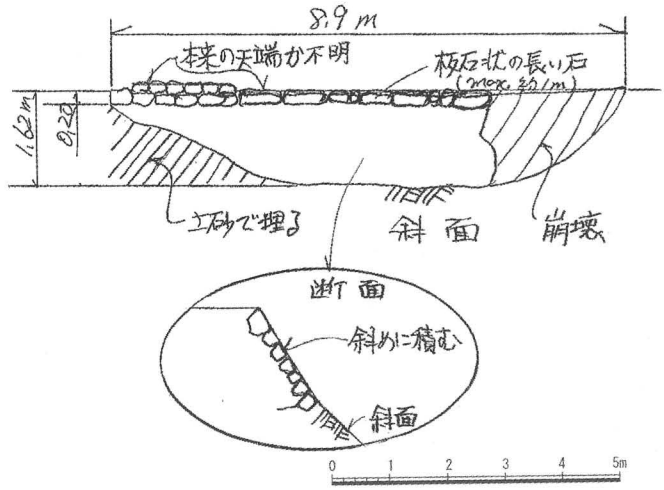


全景写真1

石垣番号	ai_060	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 8.90		下端 8.90		
石垣高さ	左 0.20		右 0.02		
	最高 1.62	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.62				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右側崩壊。左端上部崩壊。				



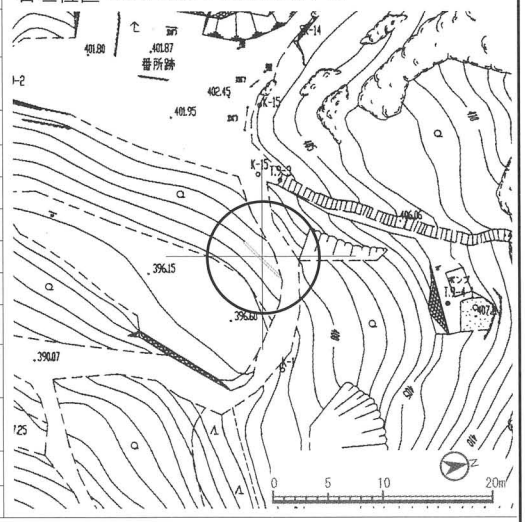
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊、カケがみられる。	



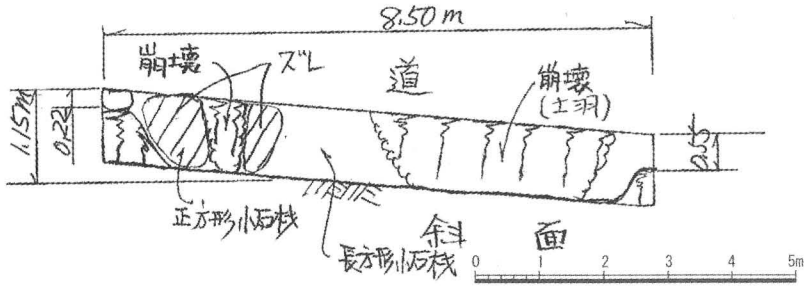
全景写真1

石垣番号	ai_061	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 8.50		下端 8.50		
石垣高さ	左 0.20		右 0.55		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.50				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材が使用されている箇所でズレがみられる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



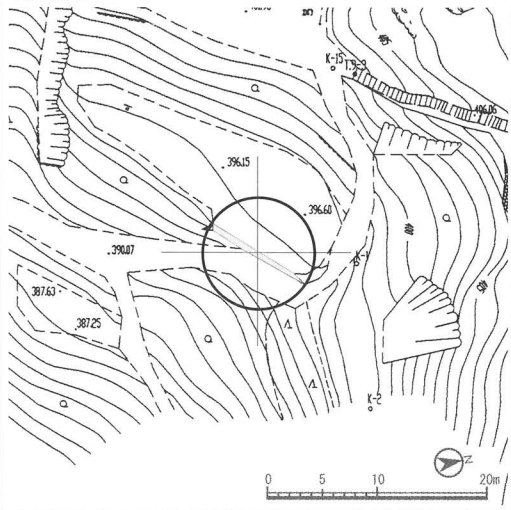
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。 ・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_062	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	?				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 10.4		下端 10.75		
石垣高さ	左 1.40		右 0.18		
	最高 1.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土(ゆるい斜面)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

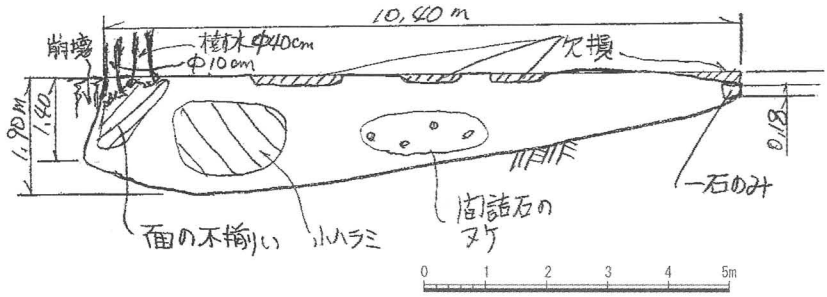


特記事項	左は崩壊。比較的大きめの石材（1m）を使う。安定している。但し左端崩壊で連鎖崩壊の恐れあり。間詰石のヌケあり。

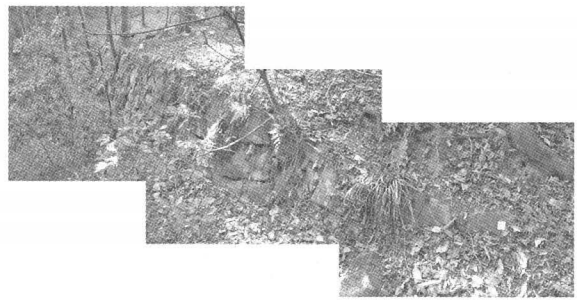
破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、カケがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

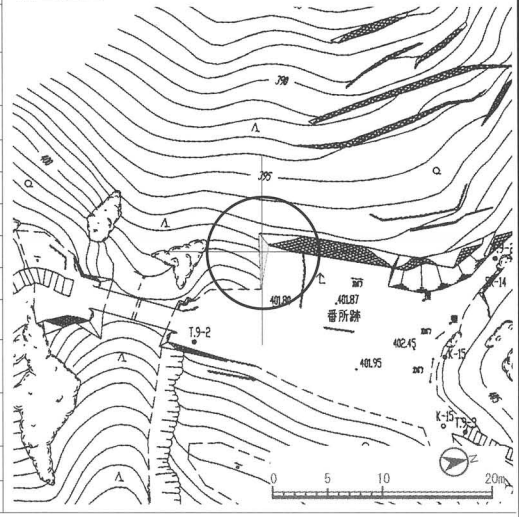
略図



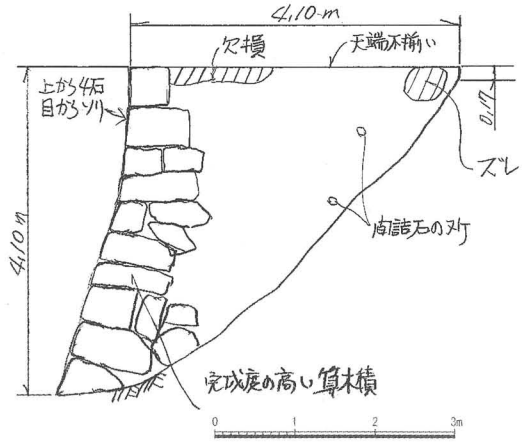
全景写真1



石垣番号	ai_063	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.10		下端 5.05		
石垣高さ	左 4.10		右 0.17		
	最高 4.10		最高点位置		
石垣勾配	左 0.30		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	方形石材。（大きさ揃う）間詰石のヌケあり。算木積（高）				



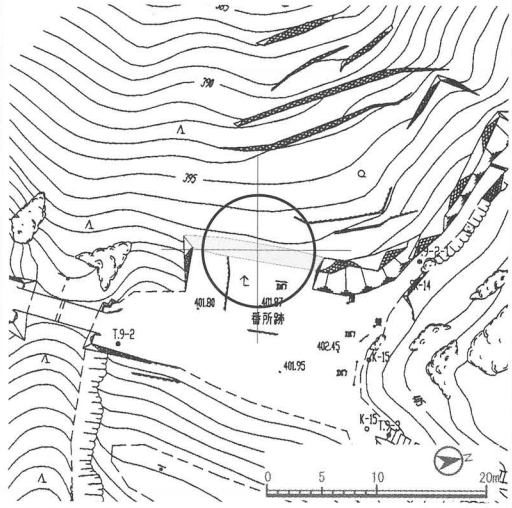
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_064	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 12.2		下端 13.35		
石垣高さ	左 4.30		右 4.10		
	最高 4.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.30		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・割レ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	方形石材使う。サイズ揃う。算木積（高）。目地２箇所あり。				

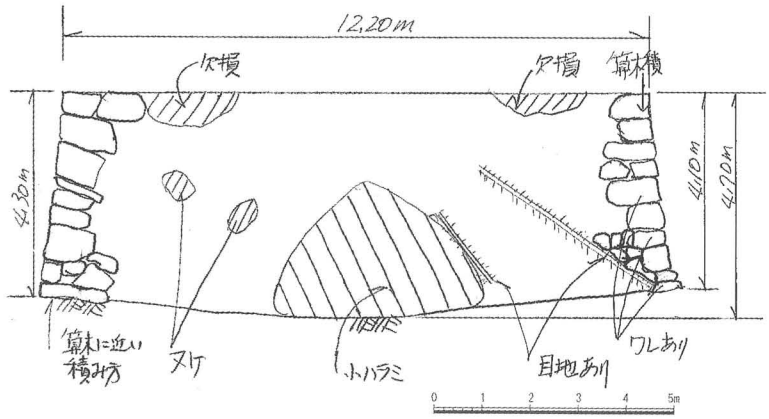
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

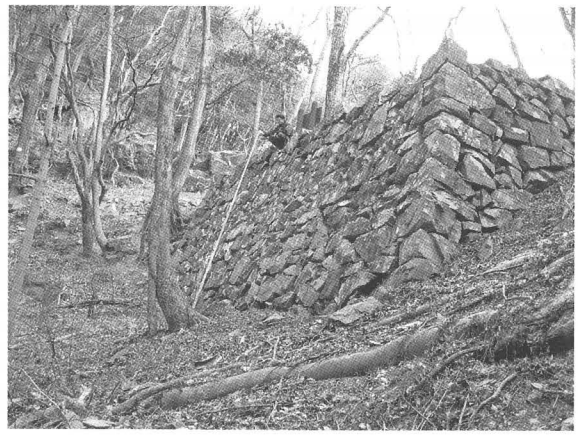
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミ、ワレ、カケがみられる。

略図



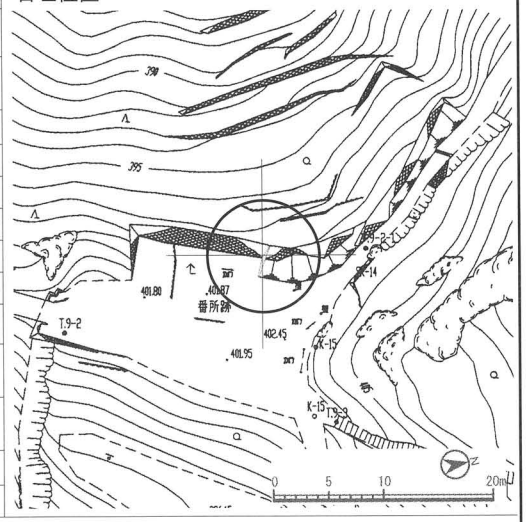
全景写真１

全景写真２

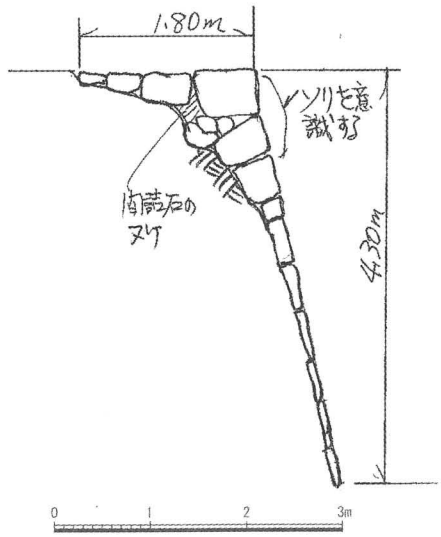


石垣番号	ai_065	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.80		下端 2.70		
石垣高さ	左 0.05		右 4.30		
	最高 4.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	その他(石垣)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。ソリあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

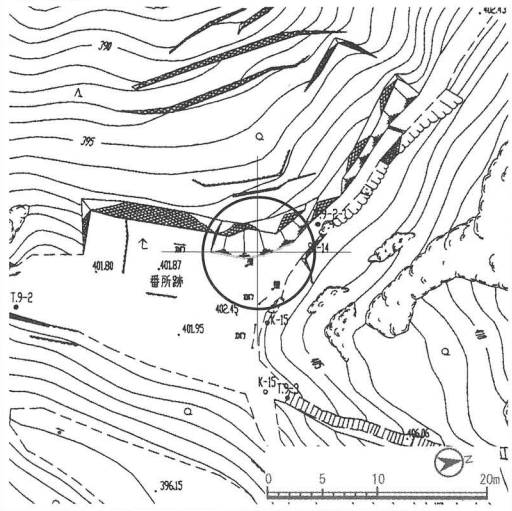


破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

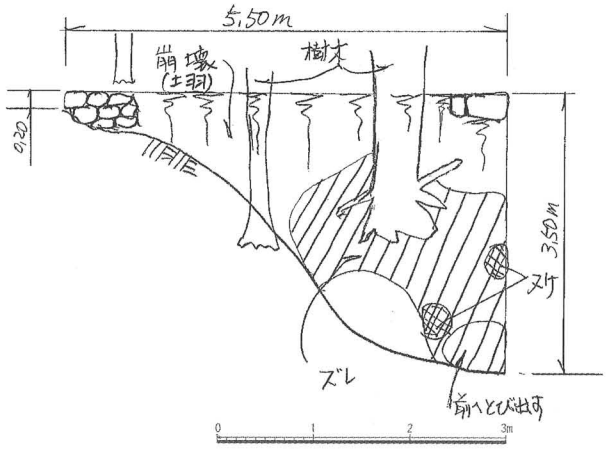
石垣番号	ai_066	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.50		下端 5.50		
石垣高さ	左 0.20		右 3.50		
	最高 3.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った小石材。雑な積み方。ナナメ使い。				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、ヌケがみられる。

略図



全景写真1